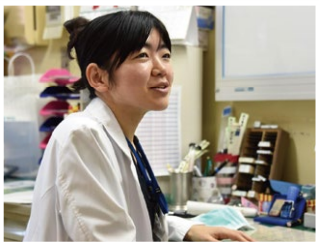
広報
かさま
2018
（平成30年）
4
No.145

地域を支える、地域医療センターかさま（4月1日オープン）



特集 平成30年度 施政方針 …… 2
平成30年度 重要事務事業 …… 6
ゴールデンウィークのごみ収集、
し尿汲み取り・浄化槽清掃について …… 14
平成29年度 笠間市表彰 …… 16
4月1日から市役所の組織機構が変わりました …… 18
平成30年4月1日笠間市人事 …… 26

平成30年4月8日発行　笠間市市長公室秘書課
〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL.0296-77-1101/FAX.0296-78-0612
TEL.0299-37-6611（岩間地域）
URL▶http://www.city.kasama.lg.jp/
E-mail▶info@city.kasama.lg.jp

特集

未来への挑戦

将来像を“文化交流都市 笠間　～未来への挑戦～”と位置づけ、
まちづくりへの「挑戦」を続けています。

平成30年度施政方針

地域の持てる力を結集して、若い人たちが活躍できる場の創出と、安心して子どもを産み育てられる環境を整える。

日本の人口は平成27年の国勢調査で初めての人口減少傾向となり、昨年８月１日現在の人口は１億２，６７５万５千人で、前年比で22万１千人減少している状況です。11年後には、１億２千万人を下回り、35年後には１億人を切るとされています。これは我が国にとっての大きな転換期に差しかかっていると言えます。

本市においても、１月１日現在の人口は７５，５６４人となっていて、前年比で４７７人減少している状況です。

出生数については、平成28年は前年より29人増加したものの、平成29年においては51人の減少に転じています。

一方、転出者数が転入者数を上回る社会減の状況ですが、昨年、一昨年と比較すると、その減少数は３分の１程度と大きく縮小しています。また、昨年10月１日現在で、15歳未満の子供の割合は１１・９％と平成27年の国勢調査から０・２ポイント減少し、逆に65歳以上の割合は３０・２％と１・８ポイント上昇している状況にあります。

新成人へのアンケート調査を実施したところ、４４・３％の方から回答をいただきました。その結果は、約４割の方が県外の学校や会社に通っています。そのうち約８割の方が県外に住んでいる状況でした。

また、「笠間が好きですか。」との質問に「好き」と答えた方が半数を超えているのに対し、「笠間に住み続けたい。今後戻りたい。」と答えた人は３割に満たない回答でした。

少子高齢化社会にあっても持続可能なまちづくりのためには、このような若い人たちが笠間市に戻って活躍できる場を創出し、そして、安心して子どもを産み、育てられる環境を整備することが必要です。子どもから若者、高齢者まですべての人が希望を持ち、幸せに暮らし続けられるまちを目指し、地域の持てる力を集結しながら、笠間市創生に向けた更なる取り組みを進めてまいります。

CONTENTS

2
特集 未来への挑戦　平成 30 年度施政方針
地域の持てる力を結集して、若い人たちが活躍できる場の創出と、
安心して子どもを産み育てられる環境を整える。

4
笠間市第２次総合計画で定めた将来像は、文化交流都市。
その将来像実現に向けた７つの政策と方針。

6
上下段
PICK UP
重要事務事業 22 事業と、平成 30 年度予算

6
中段
重点課題を、
仕組みの改革による成長する笠間づくり、と位置付け。
公民連携による人材育成・確保および経済循環を創出する仕組み改革と、その実行を図る。

12
good ふかぼり。
道の駅整備と、地域医療センターかさま

笠間市の財政状況をもっと知ろう！

笠間市公式ホームページで、さらに詳しく財政状況が確認できます。
http://www.city.kasama.lg.jp

▶トップページから予算概要で検索

７つの政策

第２次総合計画で定めた将来像は、文化交流都市。その将来像実現に向けた７つの政策と方針。

人口減少・少子高齢化の一層の進行や、環境問題の顕在化、高度情報化社会の進展、安全・安心に関する意識の高まりなど、本市を取り巻く社会経済情勢は、刻々と変化しています。

このような中で、将来にわたり、成長・発展・持続する笠間市を創るためには、長期的な展望のもと、市民と行政が共有する将来像を定めるとともに、その実現に向けて、計画的かつ総合的なまちづくりを進めていく必要があります。

そのため、本市では、これからの10年を見据えて笠間市のあるべき姿を描いた「笠間市第２次総合計画」を策定しています。

「第２次総合計画」の三つの基本方針は、

「安全・安心で快適な質の高い生活ができるまちづくり」

「多様な産業が育ち、成長する活力あるまちづくり」

「人が集い、賑わう、多様な魅力あるまちづくり」

そして、本市の「多彩な芸術」、「つながりを感じる地域の絆」、「豊かでやすらぎがある暮らし」、「多様で活力ある産業」、「受け継がれる伝統」、「豊かで美しい自然」など、すべての事柄を「文化」と定め、その将来像としたのが、文化交流都市　笠間　～未来への挑戦～です。

この、目指すべき将来像の実現に向けて、計画的かつ総合的な街づくりを進めるため、７つの政策を定めました。

第1章 | 都市基盤

■政策の方針１
活発な交流と拠点機能の強化により活力あふれるまちをつくります

■政策の方針２
快適で安らぎに満ちた、住みよいまちをつくります

■平成 30 年度の取り組み

本市の土地利用構想は「集める」、「つなぐ」、「魅力を高める」の３つを土地利用方針として掲げています。医療・福祉・商業等の機能がまとまって立地することにより、高齢者をはじめ地域の人たちが公共交通を利用してアクセスでき、日常生活に必要なサービスが住まいの身近に存在する都市構造、いわゆる「コンパクト・プラス・ネットワーク」を目指す「立地適正化計画」および地域の景観保全と景観まちづくりを推進する「景観計画」を新たに策定し、都市機能の集約と連携、良好な景観による魅力のある都市づくりに取り組みます。

第2章 | 生活環境

■政策の方針１
安全・安心に暮らし続けることができるまちをつくります

■政策の方針２
豊かな自然と環境を守り、美しいまちをつくります

■平成 30 年度の取り組み

災害に強いまち、市民が安心・安全に暮らせるまち、豊かな自然と住環境が調和した美しいまちづくりに取り組みます。

第3章 | 健康・福祉

■政策の方針１　**子どもを産み育てやすい環境を整えます**

■政策の方針２　**だれもが健やかに生活できる保健・医療制度を整えます**

■政策の方針３　**相互に支え合い、優しさと心が通いあう地域をつくります**

■平成 30 年度の取り組み

子どもを産み育てやすい環境の整備、誰もが健康で生活できる保健・医療体制の構築、支援を必要とする人を地域全体で支え合う体制づくりに取り組みます。

第4章 産　業

■政策の方針 1
新たな活力の創造と力を生かせる環境を整えます

■政策の方針 2
地域の誇りに満ちた活力ある産業をつくります

■平成 30 年度の取り組み

地域経済活動の活性化に向け、活力ある産業の創出、そして、それを支える人材の確保・育成を図るとともに、観光都市としての魅力向上などに取り組みます。

第5章 教育・文化

■政策の方針 1
未来を拓く子どもを育みます

■政策の方針 2
心身ともに健やかな人を育み、生涯にわたり学習できる環境を整えます

■平成 30 年度の取り組み

本市教育振興基本計画に基づき、「役に立つ人づくり」、「郷土を愛する人づくり」、「心身ともに健康な人づくり」を柱に、教育・文化・生涯学習・スポーツの充実などに取り組みます。

第6章 地域づくり

■政策の方針 1
多様な主体が力を発揮し、つながり、
暮らし続けることができる地域をつくります

■平成 30 年度の取り組み

多様な主体が集い、地域の賑わいを創出するため、移住・定住の促進、市民との協働による地域コミュニティの活性化、女性の活躍応援、多文化共生の社会づくりなどに取り組みます。

第7章 自治体運営

■政策の方針 1　　スリムで効率的な自治体運営をめざします

■平成 30 年度の取り組み

急速に進む人口減少、少子高齢化に伴うさまざまな課題に対応するため、目的の達成した事業や費用対効果の低い事業の廃止・見直しを行い、多様化する市民ニーズに対応する新たな施策を展開していきます。また、日直業務の見直し，お盆期間中の夏季連続休暇の取得促進、フレックスタイム制やモバイルワーク等の柔軟な働き方の検討など、職員の働き方改革をさらに進め、限られた人員と財源の中で効率的な自治体運営に取り組んでいきます。

PICKUP

重要事務事業22事業と、平成30年度予算。

都市基盤など7つの政策の方針に基づき、それぞれの政策と目標を達成するため、平成30年度に選定した重要事務事業は90事業。その中の一部をピックアップします。
※90事業はホームページからご覧になれます。
http://www.city.kasama.lg.jp/page/page003317.html

平成30年度は、仕組みの改革による成長する笠間づくり。

重要事務事業

人口減少・少子高齢化といった構造的課題がある中で、皆さんの日常生活の利便性維持と向上、そして、その担い手となる人材の確保といった課題に対応していくためには、更なる挑戦が必要です。

平成30年度の事業検討にあたっては「仕組みの改革による成長する笠間づくり」を重点課題として設定し、地域を担う人材の育成および確保、地域の魅力と成長につながる産業の支援、生活と経済の双方に好影響を与える場の創出という「ひと・まち・もの」の3つの視点に立って、事業のビルド・アンド・スクラップを行いました。

平成30年度は、笠間市第2次総合計画の達成に大きく貢献するものなど、各部で重点的に取り組んでいく事業90事業を重要事務事業としました。

ひと 地域を担う人材の育成及び確保

まち 地域の魅力と成長につながる産業の支援

もの 生活と経済の双方に好影響を与える場の創出

1 立地適正化・景観形成の推進（事業費 12,667 千円）

都市機能の集約と連携のまちづくりのため、コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造を目指す立地適正化計画を策定します。（構造分析、課題整理、基本方針等検討）

良好な景観による魅力ある都市づくりのため、景観保全および景観まちづくりを推進する景観計画を策定します。（景観特性・課題整理、市民意向調査、基本方針検討、景観条例検討）

総合計画　三つの土地利用方針

集める	つなぐ	魅力を高める
●市街地や拠点に、人や産業を集積 ●市街地と地域拠点の連携 ●市街地と各地域のネットワークを形成		●地域の特性や個性を生かした景観保全 ●魅力ある歴史的・自然的景観の保全向上
立地適正化計画		景観計画

2 包括的な空家・空地政策の推進（事業費 29,549 千円）

管理が不十分な空家等に対する適正管理の促進と利活用が可能な空家に対する空家バンク制度の推進を図ります。新たな取り組みとして、「空家バンク登録物件流通促進事業」の創設のほか、空家バンク制度に空地を加えた「空家・空地バンク制度」および「空家解体撤去補助金」を拡充します。

[空家利活用補助金]

空家バンク登録物件の流通促進を図るため、新たに既存住宅状況調査及び既存住宅瑕疵保険費用の一部を補助します。

○既存住宅状況調査（調査費用の 1/2，限度額 25 千円）【新規】
○既存住宅瑕疵保険（保険費用の 1/2，限度額 50 千円）【新規】
○修繕補助（修繕費用の 1/2、限度額 500 千円）
○空家取得（取得価格の 3%、限度額 300 千円）
○家賃補助（家賃の 2 カ月分、限度額 100 千円）

[空家解体撤去補助金]

管理不全な状態の空家を早期解決するため、平成 30 年度から 3 年間を管理不全対策強化期間として、補助金を拡充し、老朽危険空家の撤去を促進します。（補助対象工事の 1/2、限度額 500 千円）

3 道の駅整備の推進（事業費 455,205 千円）

笠間ならではの個性豊かなサービスや地場産品の提供を行うことにより、地域経済の活性化と観光や地域産業の好循環を目的とした「道の駅」の整備を進めます。

[計画・設計業務委託]

基本設計図書に基づき、工事施工を考慮したうえで、デザインと技術面の両面にわたって詳細な設計を進めます。

[公有財産購入費等]

地元説明会を行い事業認定後に用地買収および補償費等の手続きを行います。

4 笠間稲荷周辺まちづくりの推進（事業費 81,546 千円）

かさま歴史交流館井筒屋が運営を開始し、笠間の歴史と観光情報を発信するとともに、笠間稲荷門前通りのさらなる賑わいの創出を図ります。

[かさま歴史交流館井筒屋運営管理事業]

かさま歴史交流館井筒屋を、歴史や観光情報を発信する拠点および地域の交流の場として活用し、賑わいの創出を図ります。

[歴史展示コーナー運営事業]

かさま歴史交流館井筒屋に笠間城の模型や歴代城主、笠間の先人たちのパネルを常設展示し、郷土愛の醸成を図るとともに、新たな笠間の魅力を発信します。

[笠間稲荷周辺まちづくり拠点整備事業]

笠間稲荷門前通り、かさま歴史交流館井筒屋、大石邸跡、笠間日動美術館などを遊歩道でつなぎ、自然、歴史、芸術などに触れ合えるエリアに整備します。

[笠間稲荷門前通りまちづくり推進事業]

笠間のまちと通りのこれからをみんなで考える会（通称：かさまち考）を中心とした、笠間稲荷門前通りの活性化に向けた取り組みを支援します。

市税は増収なるも、施設の維持などに、経費が必要。限られた財源を、必要性が高い事業に。事務事業の抜本的な見直しを図る。

平成30年度予算

歳入は、雇用状況の改善やアベノミクス効果による過去最高の景気水準となる中、引き続き市民税や固定資産税が増え、市税全体では増収となる見込みです。地方交付税は、増額は期待できない状況ですが、これまでの実績を踏まえ前年同額で見込んでいます。

歳出は障害者自立支援給付など社会保障費などの増加を見込んでいます。また、公共施設の維持・更新等に今後、多額の経費が必要になることから、財政状況は依然として厳しいものといえます。そのため基本的な考え方として、限られた貴重な財源を有効活用するため、必要性が高い事業に重点を置いた予算とすることを掲げました。

一般会計・特別会計・企業会計を合わせた平成30年度の予算総額は、526億1,397万6千円となっています。予算編成に当たっては、仕組みの改革による成長する笠間づくりを重点課題として、今後の市民生活の利便性維持・向上、担い手ともなる人材の確保などの課題に対応するため、これまでの手法の抜本的な見直しといった行政運営における仕組みの改革を目指した予算としました。

一般会計

一般会計は、市税や地方交付税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

平成30年度の一般会計予算は295億5,000万円となっています。

7 ペットの適正飼育の推進（事業費 1,144 千円）

笠間市における犬猫の収容頭数は、減少しているものの非常に多い状況です。そのため、愛護条例の制定により、市と市民、飼い主の責務を明らかにし、人と動物との調和のとれた共生社会の実現を目指します。

[犬および猫の不妊去勢手術費補助]

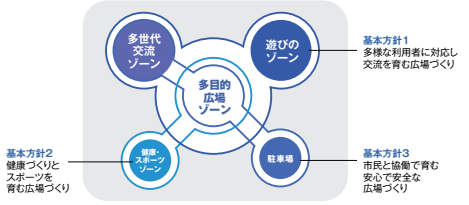
犬猫の不妊去勢手術費に対して補助金を交付します。

[所有者不明犬猫の一時預かり]

身元不明の犬猫を市が保護した場合、一時的に預かり、飼い主または里親を探します。

5 畜産試験場跡地の利活用促進（事業費 11,085 千円）

民間企業や大学など幅広く誘致の対象をもちながら、物流・生産機能、商業機能や住宅機能またはそれらを含めた複合的な活用の検討など、茨城県と協議を行いながら利活用の実現にむけた取り組みを推進します。また、平成32年度の供用開始を目指した市民の憩いの場ともなる多目的広場の整備を進めていきます。



6 友部駅周辺の道路景観構想の検討および策定（事業費 6,000 千円）

茨城県は友部駅を起点とする県道平友部停車場線の一部区間の無電柱化事業を進めていることから、それに合わせて友部駅周辺の道路景観について検討していきます。

8 地域医療センターかさまの機能強化（事業費 22,494 千円）

地域医療センターかさまのオープンに伴い，多職種による連携・協働体制の機能を強化し、地域完結型の保健・医療・福祉の包括ケアを推進します。

[在宅医療・介護連携推進事業]

在宅医療に関することや医療機関と介護関係機関の円滑な連携・情報共有を強化します。多職種多機関が抱える地域課題の検討や支援体制整備をサポートします。

[病児保育事業]

子育てと就労の両立を支援するため、病気中のお子さんを一時的にお預かりします。

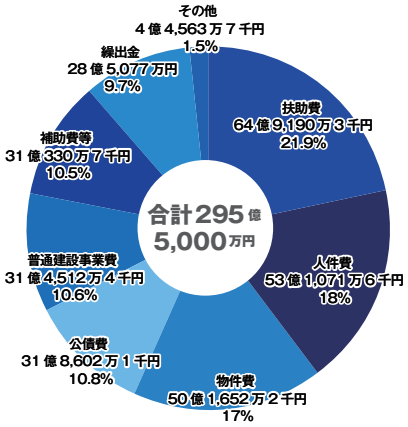
[ファミリー健康体験事業]

子どもは職業（医療・介護）体験、大人は健康チェック・介護教室の多世代参加の体験イベントを実施します。

[みんなの相談室～メディカル Cafe ～]

専門職の話を聞いたり、おしゃべりできるカフェ事業を実施します。

歳出予算性質別内訳



■歳入

自主財源のうち、市税は92億7、695万7千円を見込んでいます。依存財源の地方交付税は58億円、国庫支出金については40億2、512万円を計上しました。このほかの歳入についても、適切な見通しのもとに計上していますが、今後も積極的に財源の確保を図っていきます。

■歳出

限られた財源のもと経費の節減に努め、各種施策に効果的な予算配分を行いました。

民生費には、障害者自立支援や、保育所および認定こども園入園負担金、生活保護、児童手当、病児保育事業などの経費として107億3、644万6千円を計上しました。

総務費には、市民センターいわま大規模改修、基幹系システム機器更新、デマンドタクシーかさまの運行経費、本庁舎大規模改修、国際化戦略など32億9、465万5千円を計上しました。

教育費には、友部第二中学校校舎整備、特別支援教育支援員の配置、学力向上支援、就学前教育アドバイザーなどの経費として32億1、644万3千円を計上しました。

10 保育士の負担軽減を推進（事業費 8,150 千円）

保育所などにおける保育士の負担を軽減し、保育士の離職防止を図るため、保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育補助者の雇上に必要な費用を支援します。

【保育体制強化事業】 【保育補助者雇上強化事業】

11 かさま健康歩イント事業の実施（事業費 1,966 千円）

身近で手軽に取り組める運動習慣としてウォーキングの定着を図るため、ウォーキングポイント事業を開始します。

[ウォーキングポイント]

スマートフォンを使い、自らの歩数・消費カロリーおよび体組成計・血圧から測定したデータをシステムで一元的に管理をします。歩いた歩数に対し地域ポイントを付与し、地域ポイント還元商品から景品を進呈します。

9 妊娠・出産～子育て期における切れ目ない支援（事業費 72,219 千円）

子育て世代包括支援センターみらいを中心に、相談や情報の提供、交流の場づくりなど、妊産婦期から子育て期の切れ目のない支援を進めます。不妊治療を受けている夫婦の経済的・精神的負担の軽減を図るために費用の一部助成を行います。生涯にわたり健康な生活が送れるよう乳幼児期からの食育活動を進めます。

【母子保健事業】

【特定不妊治療費補助事業】

【子育て世代包括支援センター事業】

【食育推進事業】

12 創業支援の推進（事業費 7,048 千円）

新たな雇用の創出を図るため、商工会や県中小企業振興公社などの創業支援関係機関と連携し、相談窓口の設置や創業塾を開催するなど、創業希望者を支援します。

また、彫刻家や画家・書家・工芸美術家などのものづくり作家の移住、新規創業を支援し、「芸術のまち」づくりに取り組みます。

[創業希望者支援]

ビジネスプランの作成や資金調達、マーケティングなど創業に必要な知識を学ぶ機会を設けます。

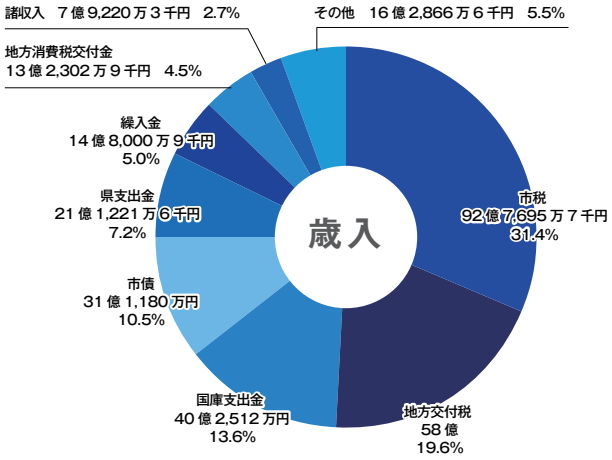
[ものづくり作家創業支援]

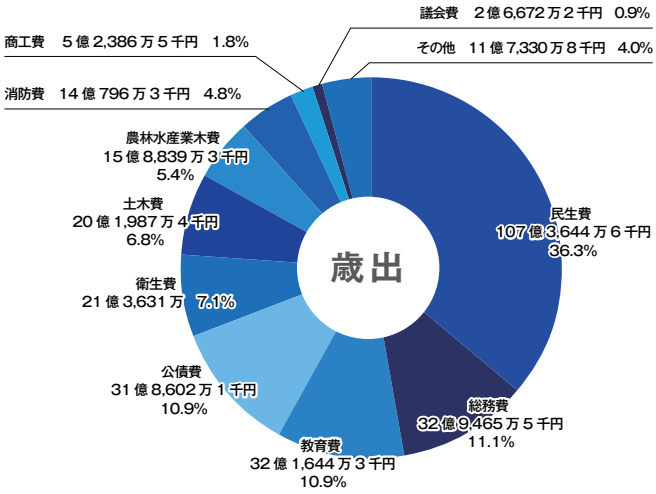
○住居または工房の家賃補助 補助率：4 分の 1 以内、限度額：1 万円／月
○建物または土地付き建物購入補助 補助率：10 分の 1 以内、限度額：50 万円
○創作施設修繕補助 補助率：2 分の 1 以内、限度額：50 万円
○設備購入補助 補助率：2 分の 1 以内、限度額：30 万円

[クリエイティブ層の誘致促進]

本市の強みでもある芸術文化都市のイメージを実際の地域づくりに生かすため、創業支援や空家活用などの事業と連携したクリエイティブ層の誘致を推進します。

一般会計 295 億 5,000 万円





13 事業承継支援の強化（事業費 15,014 千円）

次世代へスムーズな事業承継に向けた相談窓口の設置、実態把握、担い手の育成などを進めていきます。また、人の流れの創出にもつながるマッチング事業を進めていきます。

[商工業の事業承継促進]

相談窓口の設置、事業承継の問題意識啓発セミナーを開催します。

[農業担い手の育成支援]

就農に必要な研修や機械などの整備に係る費用を支援します。

[人材マッチングの促進]

生活者の多様なニーズに対応し、地域の活性化につながる実効性のある移住促進の仕組みの構築に向け、働く、活躍する場と担い手の双方の確保を図りながら、東京圏の生活者を主な対象とした公民連携によるマッチング事業を実施します。

14 笠間焼作家の育成支援（事業費 3,956 千円）

若手陶芸作家の育成支援のため、陶芸大学校卒業生を対象に、窯元から施設を借り上げ、技術の習得の機会を提供する「笠間陶芸修行工房」を創設します。

陶芸大学校卒業生に貸し工房を提供します。
作品を展示・販売できるエリアを提供します。

15 台湾交流事務所の設置（事業費 16,048 千円）

市内の活性化を図るため、現地旅行業者とタイアップし、市内ゴルフ場、笠間焼、酒蔵、つつじまつり、菊まつりなどの笠間の魅力ある情報を提供し、台湾からのインバウンド誘客を図るとともに、台湾へのアウトバウンドを推進します。

衛生費	公債費	教育費	総務費	民生費	市民一人当たりに使われるお金
予防接種や各種健診、ごみ処理事業など	市債の元金・利子の返済	各小中学校や公民館・図書館の運営など	税金の賦課、戸籍や住民登録の経費、広報紙の発行など	高齢者・障害者福祉対策や医療福祉など	※平成30年2月28日現在人口（住民基本台帳）76,860人で算出
27,795円	41,452円	41,848円	42,866円	139,688円	合計384,465円

その他	議会費	商工費	消防費	農林水産費	土木費
諸支出金など	議会の運営など	商工業支援や観光施設管理など	消防団や防災施設の整備など	農林業振興支援や農地の基盤整備など	市道の整備・補修や公共下水道の整備など
15,265円	3,470円	6,816円	18,319円	20,666円	26,280円

17 特別支援教育支援員の配置（事業費 38,175 千円）

特別な支援が必要な児童が年々増加していることから、教育支援員を増員し、校内支援体制を確立します。

16 就学前教育アドバイザーの配置（事業費 2,446 千円）

アドバイザー（臨床発達心理士）による、特別な教育的支援が必要な幼児の早期発見を行います。

18 小・中学校（義務教育学校）校舎等の環境向上の推進（事業費 384,516 千円）

教育環境の向上を図るため、市内全中学校へエアコンを設置するため実施計画を行います。また、友部第二中学校の校舎外壁やトイレなどの改修工事と、みなみ学園義務教育学校校舎の老朽化対策のため実施設計を行います。

[全中学校校舎へのエアコン設置［設計］]

[友部第二中学校校舎老朽化対策]

屋根・防水・外壁・トイレ（洋式化・温水洗浄便座化）照明器具（LED 化）などの改修

[みなみ学園義務教育学校校舎の老朽化対策等［設計］]

校舎の一体化に向けた設計

19 明治150年記念事業（事業費 1,487千円）

明治期の笠間の産業や先人などに関する資料を収集・整理し、かさま歴史交流館井筒屋を会場にした企画展を開催します。

20 ユニバーサルデザインのまちづくりの推進（事業費 404千円）

すべての人が生活しやすい社会のデザインという広い概念をもつ「ユニバーサルデザイン」の考え方を導入したまちづくりを推進します。

「ユニバーサルデザインの意識醸成」

年齢、障がい、性別や人種などにかかわらず、さまざまな多様性に向きあうための講座などを実施します。また「おもてなし」や「こころづかい」として訪れる方、住む方の双方に波及する行動につなげる取り組みを推進します。

[公共施設整備への反映]

市役所本庁舎の大規模改修などにおいて、ユニバーサルデザインの視点をもつ専門家の助言などを取り入れた整備などを推進します。

■特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業を行う場合、それぞれの特定収入で運営していく独立した会計のことです。平成30年度より、岩間駅東土地区画整理事業特別会計が廃止、公共下水道事業特別会計が企業会計へ移行しました。

■企業会計

企業会計は、事業から得る収益を主な財源として運営していく会計のことです。本市では、病院事業、水道事業および工業用水道事業と平成30年度より公共下水道事業が加わり4会計となります。

■特別会計（単位：千円）

区分	予算額
国民健康保険	8,234,000
後期高齢者医療	805,000
介護保険	6,381,000
介護サービス事業	18,000
農業集落排水事業	774,000
特別会計合計	16,212,000

一般会計	295億5,000万円
特別会計	162億1,200万円
企業会計	68億5,197万6千円
予算総額	526億1,397万6千円

■企業会計（単位：千円）

区分	予算額
病院事業	852,617
収益的支出	838,472
資本的支出	14,145
水道事業	2,299,912
収益的支出	1,768,574
資本的支出	531,338
工業用水道事業	28,915
収益的支出	28,915
資本的支出	0
公共下水道事業	3,670,532
収益的支出	1,860,283
資本的支出	1,810,249
企業会計合計	6,851,976

21 生涯活躍のまち構想の推進（事業費 13,908千円）

社会減少および高齢化が進む中でのまちづくりに資するため、高齢層だけではなく若年層にも、将来に向けて期待と安心を与える「笠間暮らし」を提供するコミュニティ（笠間版CCRC）の形成に向けた取り組みを推進します。

「先導するCCRCの形成推進」

事業実施候補者および笠間市CCRC推進協議会における事業計画の策定をはじめ、1件目となるコミュニティの整備・誘導を図ります。

[移住・二地域居住者の確保]

移住・二地域居住者の確保に向け、産学官連携による企業勤務者を対象とした協働事業やＰＲなどを実施し、東京圏から本市への人の流れの創出を図ります。

[各種施策との連携]

雇用や移住施策だけではなく、暮らすまたは就労などの場ともなり得る空家・施設などの利活用策、ヘルスケア産業創出の種ともなり得る介護・健診ネットワークを含めた地域包括ケア体制の整備などの施策と連携を強めた取り組みを推進します。

22 働き方改革の推進（事業費 5,288千円）

職務意欲や公務能率等の向上を図り、職員の個々の能力を最大限に発揮させ、刻々と変化する社会経済情勢に対応した市民サービスを提供していきます。

【働き方改革講演会の開催】　【働き方改革実践研修の実施】
【意識変革・課題解決へ向けての人材育成研修の実施】
【日直業務の見直し】
【お盆等の夏季連続休暇取得（サマーバケーション）の推進】

good ふかぼり。

4月から、市立病院、保健センター、地域包括支援センターが統合され、地域医療センターかさまが動き出しました。また、道の駅整備事業が体制を整え始動。それぞれの所管部課長に伺いました。

友水 地域医療センターかさまには、市立病院（医療）、保健センター（健康、保健）、地域包括支援センター（介護福祉）、病児保育ルームが併設されることで、地域完結型の包括ケアを実施できることになります。

下条 現在は、それぞれの施設の場所が市内各所にあるため、住民の皆さんにケース検討を行う場合にその都度、各相談場所に行っていただくなど負担をおかけしている面もありました。

飯村 施設が一つに集約されていることで、お越しいただいた方は内容によって入口（保健、医療、福祉）が3か所になります。どの部門からでも内容に沿って、それぞれの専門員の意見を聞くことができ、より適切なケアやアドバイスなど必要な情報を提供することが可能になったんです。

包括支援センター長　飯村 美奈子

下条 地域医療センターは、保健、医療、福祉が一体となっているところが特徴です。それぞれの専門分野の輪が重なることで連携を大切に包括ケアを進めていくことが新たな領域です。

保健福祉部長　下条 かをる

友水 地域医療センターでは、在宅医療と介護の連携推進のほか、保健、医療、福祉に関連したみんなの相談室メディカルcafe（市立病院食堂など）やファミリー健康体験教室（保健センター）などのイベントを実施していきます。市民の方が日常的に「健康」を意識する場として利用していただきたいと思います。

市立病院事務局長　友水 邦彦

入口は三つ、だけど出口は健康維持の一つ。新たな領域を創り出します。

産業経済部長　古谷 茂則

道の駅整備推進課長　斎藤 直樹

建設予定地は、笠間市手越にあるコンビニエンスストアを含んだ周辺。
計画では同店舗および秋葉原行きの高速バスの停留所はそのまま維持する予定です。

笠間市のど真ん中に、新たな交流拠点を形成します。

道の駅整備事業の現在・過去・未来

道の駅は、平成29年4月現在で全国に1,117駅があり、そのうち茨城県には13駅がドライバーの休憩施設、そして地域の振興に寄与する施設として営業しています。

もともとは、観光地に行く途中の休憩所と地域振興施設を一体化し、地域情報の発信地にしようという目的でつくられたものですが、最近は、道の駅ブームで道の駅に行くことを目的とした利用者が増えています。

笠間市は、平成29年度から「道の駅」整備推進協議会などを開催し具体的な検討を進めてきましたので、これまでの経緯とこれからの計画をお知らせします。

古谷　毎年実施している市政懇談会の中で、もっとも古くは、平成18年8月、「陶炎祭（ひまつり）会場と友部ICの間に道の駅を造ってはどうか」と市民の皆さんから設置に向けて検討してほしい旨のご意見がありました。

また、市議会からも「道の駅を整備し、さらなる地域振興を図ってはどうか」といった意見がありました。

市としては、これらのご意見にJA常陸の農産物直売所（みどりの風、めばえ、土からのたよりの3ヶ所）が市内にあり、類似施設との競合を避けるため、道の駅整備に関する検討・推進は控える旨の方針を示してきました。

齋藤　平成29年5月にJA常陸から農産物直売所「みどりの風」について、移転整備に関する協力要請がありました。

そこで、第2次総合計画など既存の計画を踏まえ検討したところ、農産物直売所機能を中心としながら、休憩機能、市内外への情報（魅力）発信機能などを有した新たな交流拠点として「道の駅」を整備することとしました。

古谷　平成30年度は、基本設計・実施設計業務を委託し、基本設計図書に基づき、デザインと技術面の両面にわたって詳細な設計を進めます。また、施工に向けて工事費の具体的な積算を行っていきます。

その後、地元説明会を行い事業認定の手続きを済ませ、そして用地買収および補償費などの契約事務を行っていきます。

また4月からは、所管を農政課農政企画室から道の駅整備推進課に分離独立させ、早期開業に向けて事業を推進させていきます。

予定地は笠間市のほぼ中心

道の駅設置に関する動き		
市政懇談会	住民から道の駅整備に関する提案	平成18年8月
		平成24年10月
		平成25年7月
		平成28年5月
市議会	一般質問	平成28年12月
		平成29年3月
JA常陸	みどりの風建設整備に関する協力要請	平成29年5月
市	「道の駅」基本構想・基本計画策定業務に係る公募型プロポーザルを実施	平成29年11月

ゴールデンウィークのごみ収集、し尿汲み取り・浄化槽清掃について

【笠間地区】 5月3日(木)～5日(土)のごみ収集は休みとなります。可燃ごみの翌日の振替収集は行いませんので、3日(木)分は7日(月)に、4日(金)分は8日(火)に、5日(土)分は9日(水)に可燃ごみを出してください。その他、詳細は下記表をご確認ください。

※○は通常どおり実施、斜線は通常と同じく休みになります。

	4月30日(月) 振替休日	5月1日(火)	5月2日(水)	5月3日(木) 憲法記念日	5月4日(金) みどりの日	5月5日(土) こどもの日
可燃ごみ 収集	休み 1日に振替	○ 30・1日分	○	休み	休み	休み
不燃ごみ・ 資源物収集		○	○	休み 10日に振替	休み 11日に振替	休み 12日に振替
家庭ごみ 持込						休み
事業系 ごみ持込	休み	○	○	休み	休み	休み
し尿汲み取り・ 浄化槽清掃	休み	○	○	休み	休み	

・4月30日(月)(振替休日)の可燃ごみ収集は休みとなり、翌日(5月1日)に振替収集を行います。
・不燃ごみおよび資源物収集は、翌週の同じ曜日に振替収集を行います。
・5月5日(土)は祝日のため、エコフロンティアかさまへのごみ持ち込みは出来ません。
・し尿汲み取り・浄化槽清掃については、通常どおり土曜日・日曜日・祝日は休みとなります。

【友部・岩間地区】

※○は通常どおり実施、斜線は通常と同じく休みになります。

	4月30日(月) 振替休日	5月1日(火)	5月2日(水)	5月3日(木) 憲法記念日	5月4日(金) みどりの日	5月5日(土) こどもの日
ごみ収集	○	○	○	○	○	
ごみ持込	○	○	○	○	○	
し尿汲み取り・ 浄化槽清掃	休み	○	○	休み	休み	

・ごみ収集・ごみ持ち込みのどちらも通常どおりとなります。
・し尿汲み取り・浄化槽清掃については、通常どおり土曜日・日曜日・祝日は休みとなります。

【問い合わせ】環境保全課(内線127)

●休日納税相談窓口のお知らせ

収税課では、収納推進強化の取り組みとして、納税についての相談ができる休日窓口を引き続き開設します。病気や失業・事業の経営不振など、止むを得ない理由で納期限内に税金を納めることが困難な方には、生活状況などを伺わせていただいた上で、納付計画のアドバイスをしています。

期日 4月29日(日)、5月27日(日)、6月24日(日)、7月29日(日)、
8月26日(日)、9月30日(日)、10月28日(日)、11月25日(日)、12月23日(日)
平成31年1月27日(日)、2月24日(日)、3月31日(日) の12日間。
時間 午前8時30分～正午まで。
会場 笠間市役所本庁　収税課
相談および納付できる税目 市県民税、固定資産税、
軽自動車税、国民健康保険税。
持参品 ○収入・支出の分かる書類
○認印
※　課税内容についてのご相談は、事前に各担当課までご相談ください。

【問い合わせ】収税課(内線118)

明治期の写真を探しています！

平成30年(2018年)は、明治元年(1868年)から満150年の年に当たります。

そこで市では明治期の写真を展示する企画展を予定しています。明治期の様子を振り返ることができるような、市内の写真を広く募集しますので、ぜひご協力ください。

【募集する写真】 明治期に撮影された笠間市に関する写真で現像されたもの
例：街並みや生活風景、地域の祭りの様子、農作業の風景など

【提供方法】 生涯学習課までご連絡ください。お話を伺ったあとに、写真をお借りしたいと思います。写真はスキャンした後に返却します。

【募集期間】 5月下旬まで

【連 絡 先】 生涯学習課文化振興室(内線382)

明治時代の笠間尋常小学校

明治40年頃の笠間焼風景

「市街地活性化事業」を募集します

中心市街地内(岩間駅・友部駅・笠間駅・稲田駅周辺および笠間稲荷周辺)において、地域の活性化を目的として、市民等が自主的・主体的に行う事業に対して補助金を交付します。

○補助の対象となる区域

(1)笠間稲荷神社、岩間駅、友部駅、笠間駅のいずれかを含む地域で、都市計画法第9条に規定する近隣商業地域および商業地域

(2)県道稲田停車場線の稲田駅から神田橋までの沿線および市道(笠)3173号線、市道(笠)3535号線沿線

(対象地域の詳細はお問い合わせください)

○補助の対象者

市街地活性化事業を行う個人または法人、市民等で構成される団体

(現在、市から補助を受けている方または税等を滞納している方は対象外)

○対象となる事業および補助金の額

次のいずれかに該当し、事業費総額(補助対象経費)が50万円以上で、補助金交付決定後、平成30年度末までに完了見込みの事業。

(1) 空き店舗等の活用

空き店舗・空き家・空き蔵等を改装または空き地を活用し、店舗、宿泊施設、コミュニティ施設等として整備

(2) 観光・商業施設の整備

休憩スペース・観光案内所・観光案内板・案内放送設備等の設置

(3) まち並み景観整備

地域の景観ルール等に基づく景観整備

○補助率

補助対象事業費の1／2以内

ただし、市民等で構成される団体(商店会等)が行う事業で、笠間市市街地活性化事業補助金審査委員会が特に必要と認めた場合は、補助対象経費の4／5以内

注意事項
- ※ 補助金の交付額は3,000万円を限度とし、予算の範囲内で決定します。
- ※ 申請前に着工した事業、または交付決定通知が届く前に着工した事業については対象になりません。
- ※ 市街地活性化事業補助金審査会で、別に定める審査項目による書類審査を行い決定します。(必要に応じプレゼンテーションによる審査を行う場合があります)

○申請書類の受け付け期限

平成30年5月31日(木)まで。

(土曜・日曜・祝日を除く、平日の午前8時30分から午後5時15分まで)

【問い合わせ】 都市建設部 まちづくり推進課(内線537)

やさしい保険プラザ 友部スクエア店
笠間市住吉 1364-1
0120-650-121
営業時間 10:00~20:00
保険募集代理店 株式会社 フィックス・ジャパン 茨城支店

「保険料が上がるのか？下がるのか？」新たに保険加入をご検討されているお客様は、ぜひお気軽にご相談ください。

2018年4月 保険料改定!!

この4月に一部の生命保険会社が「保険料の改定」を行いました。

平均寿命が延び、保険会社が保険料を決める元となる「標準死亡率」が下がった事などから、掛け捨てタイプの死亡保障を中心に保険料が値下げの傾向です。

逆に医療保険・がん保険は給付金の支払いが増える要因になりますので、保険料は値上げの傾向となっています。

性別やご年齢・商品によって値上げと値下げが混在しており、また保険会社によって対応は異なります。

平成29年度 笠間市表彰

3月15日(木)、平成29年度笠間市表彰式が笠間市役所で行われました。この表彰は、市政の振興に著しく功績があった個人または団体を対象にしており、行政、社会、文化などの各分野から10名、3団体が受賞しました。

一般表彰(個人)

青木 英雄さん

生前、昭和39年の友部町立北川根小学校薬剤師として就任後、学校保健の充実に力を注ぎ、53年の永きにわたり、健康増進への適切な指導・助言など保健衛生の充実発展に多大な貢献を果たされました。

水澤 一暢さん

公益財団法人日本習字教育財団主催の「第24回公募日本習字展」の、毛筆部門において特別賞「観峰大賞」に輝き、笠間市の芸術文化振興に大きく貢献されました。

大嶋 知葉さん

日本伝統文化吟友会主催の「第26回吟剣詩舞コンクール全国決勝大会」において、吟詠の部・漢詩・少年の部で優勝に輝き、笠間市の芸術文化振興に大きく貢献されました。

大嶋 希海さん

日本伝統文化吟友会主催の「第26回吟剣詩舞コンクール全国決勝大会」において、吟詠の部・漢詩・幼年の部で優勝に輝き、笠間市の芸術文化振興に大きく貢献されました。

寺内 寛さん

昭和52年に笠間市文化財保護審議会委員に就任、24年間の永きにわたり、埋蔵文化財の専門的知識と経験を生かし、笠間市の文化財保護および活用に大きく貢献されました。

能島 清光さん

昭和45年に笠間市文化財保護審議会委員に就任、38年間の永きにわたり、埋蔵文化財の専門的知識と経験を生かし、市の文化財保護および活用に大きく貢献されました。また市史研究員として、市民の歴史・文化に対する意識向上に尽力されました。

富施 郁哉さん

東京後楽園ホールで開催された「第64回全日本新人王決定戦」で、4ラウンドTKOでバンタム級新人王を獲得し、笠間市のスポーツ振興に大きく貢献されました。

川堀 一郎さん

平成11年度に笠間市体育協会理事に就任後、平成28年からは会長として、19年間、笠間市の体育振興に大きく貢献されました。また平成29年11月には、茨城県表彰を受賞しました。

田村 和己さん

昭和55年にスポーツ推進委員(体育指導員)就任後、専門分野である軟式野球を中心に笠間市の体育振興に大きく貢献されました。また平成29年11月にスポーツ推進委員功労者表彰を受賞しました。

田中 みつえさん

生前、岩間図書館をよく利用されていたことから、これまでの感謝を込め、笠間市へ多額のご寄附をされ、市の文化振興に大きく貢献されました。

一般表彰の皆さん(個人・団体)

一般表彰(団体)

金谷中山間地域組合(組合長 鈴木義男さん)

農村環境保全管理のため、農道や水路の草刈り、生態系の保全活動など地域全体で取り組み、笠間市の環境向上に大きく貢献されました。また平成29年8月に「茨城県美しい水土里づくり優良活動表彰」県知事表彰を受賞されました。

下市毛まちづくり同好会(会長 三村拓次郎さん)

平成19年度から茨城県道路里親として、平成23年度から笠間市道路里親として道路美化活動に取り組み、笠間市の地域振興に大きく貢献されました。また平成29年8月に道路愛護団体等の国土交通大臣表彰を受賞されました。

さわらや農園(代表 橋本和子さん)

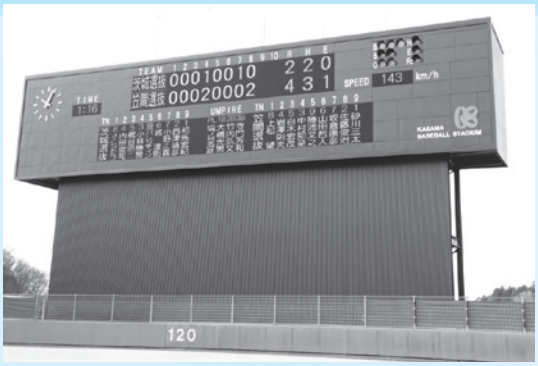
古代米の栽培や甘酒加工を通じ、6次産業化推進や地域ブランド力の向上に努め、笠間市の地域産業の振興に大きく貢献されました。また平成29年12月に茨城県農産加工品コンクール 金賞(茨城県知事賞)を受賞されました。

まちの話題

笠間市民球場のスコアボードが電光掲示板に

2019年に開催される茨城国体を前に、笠間市民球場のスコアボードが手動式からLEDの電光掲示板へ生まれ変わりました。

平成5年に建設された市民球場（収容人数8,200人）は、スコアボードのほか得点板や選手名、スピードガンによる球速も表示できるようになりました。傷みが激しかった壁やダッグアウトなども綺麗に改修されました。



笠間市民球場電光掲示板

笠間日動美術館の萩野谷（はぎのや）事務局長（左）から寄贈を受ける鈴木館長

笠間日動美術館が笠間図書館へ図録や書籍を寄付

3月2日（金）に、（公財）笠間日動美術館から笠間図書館へ、美術館が今まで開催した企画展で使用した図録や所蔵している作家の画集、関連書籍を含め117点を寄贈されました。

寄贈を受けた鈴木図書館長は、「美術館が所蔵している画集など、普段見ることができない貴重な書籍を寄付していただいたことを大変うれしく思います。市民の方を始め一人でも多くの方に見てもらえたら」と話されました。

館内には、新たに笠間日動美術館の関連書籍コーナーが設置されています。

ふるさと名物応援宣言に伴う地域産業資源活用事業計画が認定

平成28年5月に、笠間市は県内初となる「ふるさと名物応援宣言」を行い、「笠間の栗加工品群」を応援することを宣言しました。これをきっかけに地域資源である「笠間の栗」を活用する気運が高まり、今回、有限会社グリュイエールと農業生産法人有限会社ナガタフーズの「地域産業資源活用事業計画」が認定され茨城県庁において交付式が行われました。

事業計画が認定されたことに伴い、新商品・新サービスの開発や販路開拓等に係る費用の一部を支援する「ふるさと名物応援事業」を優先的に受けることができるようになりました。

認定証を交付された、左からグリュイエールの根本（ねもと）社長、ナガタフーズの永田（ながた）社長

友部相撲スポーツ少年団の皆さんと横綱稀勢の里関（最後列右端）、大関高安関（前から3列目左端）

友部相撲スポーツ少年団が日本相撲協会田子ノ浦部屋と交流

2月17日（土）、大相撲の田子ノ浦（たごのうら）部屋（東京都江戸川区）に友部相撲スポーツ少年団のメンバー17人が、相撲への取り組む姿勢を学ぶため、稽古見学に伺いました。これは、少年団を運営する保護者の方々が、子どもたちに力士との触れ合いを通じ、相撲はもちろん人として大きく成長してほしいとの思いから企画したものです。

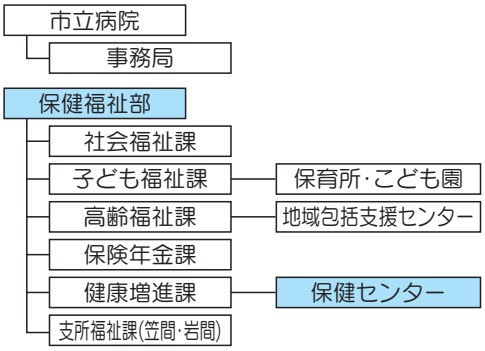
部屋には、茨城県出身の横綱稀勢の里関や大関高安関が在籍しており、当日は稽古見学のほか、特別に親方、横綱、大関が指導をしてくれました。本物を肌で感じた子どもたちの活躍に期待しています。

4月1日から市役所の組織機構が変わりました

1. 福祉部・保健衛生部、保健センターの統合

4月より市立病院と保健センターなどを併設した「地域医療センターかさま」がオープンしました。多職種による連携・協働体制の機能強化を図るため、福祉部と保健衛生部を統合し、新たに保健福祉部 7課体制として、病院と連携しながら総合的に事業を行っていきます。

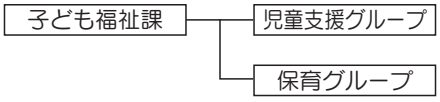
また、3地区に設置していた保健センターの組織を集約し、市民の健康増進や妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援体制を更に充実させていきます。



2. 子ども福祉課「幼保連携推進室」の廃止

幼保連携推進室は、認定こども園の建設や児童館運営等の業務を担ってきました。現在は、かさまといなだの2つの認定こども園が開園し、順調に運営していますので、「幼保連携推進室」を廃止することとします。

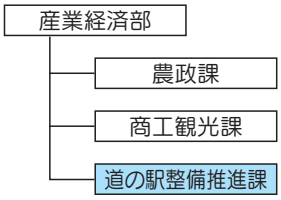
幼保連携推進室で担当していた幼児保育・子ども子育て事業については、子ども福祉課で継続して事業を行います。



3. 道の駅整備推進課の新設

地域経済・農業観光の活性化を目的として、「道の駅」整備を進めています。

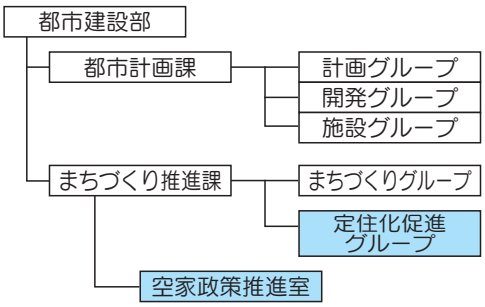
今後、事業認定や用地買収等、開業に至るまでの事務を遂行するための所管部署を、産業経済部内に「道の駅整備推進課」として設置し、関係機関と連携しながら準備を進めます。



4. 空家・定住化施策の強化に伴う所管課等の再編

空家政策については、都市計画課内の空家政策推進室において、空家の適正管理および空家の利活用に努めてきました。今後、各種施策について拡充を行い、まちづくり推進課で実施していた定住化施策も含めて総合的に事業を展開していく必要があります。

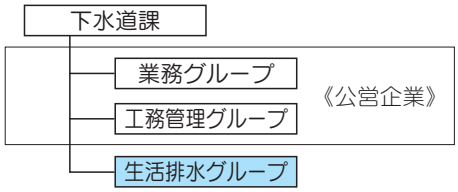
このことから，まちづくり推進課に「空家政策推進室」を移行して、定住・空家政策を集約するとともに、新たに定住化促進グループを設置し、事業の充実を図ります。



5. 公共下水道事業の地方公営企業法適用化に伴うグループの再編

4月から、経営の健全化を目的として、公共下水道事業が公営企業会計に移行しました。

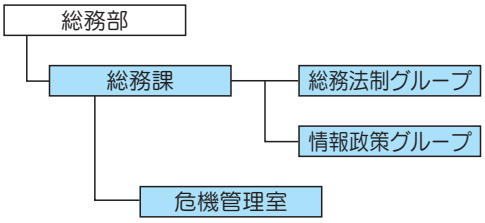
このことから、従来の農集排グループの名称を「生活排水グループ」とします。



6. 総務課・行政経営課の統合

行政経営課は行政改革・情報政策を所管する部署として、また、総務課は選挙・議会・防災等市執行部の中枢部署としての役割を果たしてきました。

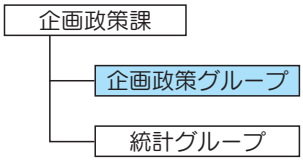
今般、業務改革の推進と新たな行政課題に対応していく体制づくり、また、選挙事務・災害時における組織力の向上を目的として総務課と行政経営課を統合します。



7. 企画政策課「企画G」と「政策G」の統合

企画政策課は、特命事項の立案や事業関係課と連携した事務もあり、企画部門と政策部門の枠を超えた事務遂行が必要となっています。

地域住民の多様化したさまざまなニーズに対応した企画立案や施策展開、関係機関との調整を効率的かつ総合的に進めるため、企画グループと政策グループを統合します。



情報カレンダー 5月

日付	行　事
1火	**第37回笠間の陶炎祭(5日まで)** 笠間芸術の森公園イベント広場 (笠間焼協同組合 TEL 0296-73-0058) **あたご山桜まつり**(6日まで) 愛宕山大駐車場周辺 ((一社)笠間観光協会 TEL 0296-72-9222)
2水	
3木	**憲法記念日** **笠間食材セレクション by 岩崎シェフ** かさま歴史交流館　井筒屋(農政課　内線526)
4金	**みどりの日**
5土	**こどもの日**
6日	
7月	**いこいの家はなさか 休館日** (いこいの家 はなさか TEL0296-77-5110)
8火	
9水	
10木	**みんなの相談室～メディカルカフェ～** ※要予約 14:00～15:30 テーマ「認知症の方への接し方」 (笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871)
11金	
12土	
13日	**天狗の郷バザールdeいわま**　9:00～15:00 地域交流センターいわま「あたご」 (根本　TEL090-3009-7883) **普通救命講習会**　9:00～12:00　消防本部　3階 (笠間市消防本部 TEL 0296-73-0119)
14月	**いこいの家はなさか 休館日**
15火	
16水	**特設無料人権相談**　10:00～15:00　地域福祉センターともべ(旧友部社会福祉会館) (水戸地方法務局 TEL 029-227-9919) **行政書士無料相談会**　13:00～16:00 笠間市役所本所1階ロビー(秘書課 内線226)
17木	
18金	**地域児童相談**　9:30～16:00 笠間市役所本所教育棟会議室 (子ども福祉課 内線164)※完全予約制
19土	
20日	
21月	**いこいの家はなさか 休館日**
22火	
23水	**特設相談**　14:00～16:00　(友部公民館) (秘書課 内線226)
24木	
25金	
26土	**カサマルシェ**　9:00～12:00 友部公民館前(農政課　内線527)
27日	**友部駅前フリーマーケット**　9:00～13:00 地域交流センターともべ「トモア」まちの広場 (佐藤 TEL090-3245-0880) **休日納税相談窓口【市役所本所】**　8：30～12：00 (収税課 内線118)
28月	**いこいの家はなさか 休館日**
29火	
30水	
31木	

※笠間子育て支援センター『みつばち』は、毎週月～金曜日に開設します(かさまこども園内10:00～16:00)。祝日は休み。

※岩間子育て支援センター『くりのこ』は、毎週月・水・木・金曜日に開設します(岩間保健センター内10:00～16:00)。祝日は休み。

※友部子育て支援センター『かんがるー』は、毎週月～金曜日に開設します(笠間市児童館内9:00～16:00)。

※各保健センターで実施する、健診・予防接種などは、保健カレンダーをご覧ください。

◎窓口延長サービス

曜日	場所	時間	窓口延長課
日曜日	市役所本所	8:30～12:00	市民課 収税課(月末のみ)
火曜日	岩間支所	17:15～19:30	市民窓口課
水曜日	市役所本所	17:15～19:30	市民課、保険年金課 税務課、収税課
木曜日	笠間支所	17:15～19:30	市民窓口課

※上記以外の窓口の延長業務は行っていません。

5月の休日救急診療当番 (9：00～17：00)

日付	曜日	病院名	電話番号
毎週	日	笠間市立病院	0296-77-0034
3日	木	石本病院	0296-72-4051
4日	金	立川記念病院	0296-77-7211
5日	土	磯医院	0296-74-4790

※平日夜間19:00～21:00(土曜日・祝日・年末年始を除く)は笠間市立病院で初期救急診療を行っています。
※当番医は変更になる場合がありますので、確認の上、診療を受けてください。

笠間市地域おこし協力隊 活動報告 No.56

トモアでの日本茶イベント

芸術の森でのノルディックウォーキング

プロフィール　河又（かわまた）　恵太（けいた）（29歳）神奈川県より移住

一年目の活動を終えて

昨年の９月から協力隊として活動を開始して７か月、4月から２年目に入りました。

イベントの企画や協力をしながら、自分のできることを探しているうちに、あっという間に時間が過ぎていった１年目。活動の中でお会いした方々は、とても優しく接してくださいました。まちの方々の人柄の良さは、僕が移住したきっかけでもあり、笠間の魅力の一つだと改めて実感しています。

市内での日本茶のイベントの開催、笠間ノルディックウォーキング同好会への参加など、まちの方々との関わりも生まれ、少しずつではありますが知り合いも増えてきました。

最初は人見知りな性格の自分が協力隊の活動を続けていけるのか不安もありましたが、行く先々で温かく迎えていただけたおかげで、今では少し自信を持って活動しています。

２年目の活動では、これまでの関わりをつないで、まちの中に楽しい場所を増やせるような活動を考えています。今まではお茶やウォーキングの比率が多かったのですが、実は移住交流促進担当の僕。移住したい方を温かく迎え、人と人がつながるような活動をしていきますので、今年度もよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住（最長3年）し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックもご覧ください
ブログ▶ http://ameblo.jp/kasamart-wa/
Facebook ▶ https://www.facebook.com/Kasamartowa

【問い合わせ】まちづくり推進課（内線 538）

弁当調製業者，売店出店者を募集しています

①弁当調製業者

選手及び監督、競技役員等の大会関係者に配布する弁当の調製業者を募集します。

応募要件：笠間市弁当調製施設選考基準を満たしていること

応募締め切り：5月31日（木）まで

※5月31日までにお申し込みいただいた場合は、リハーサル大会にもご協力いただきます。
5月31日以降のお申し込みについては、本大会への参加のみとなります。

②売店出店者

各競技会場に設置する売店の出店者を募集します。

販売品目：スポーツ用品、国体記念グッズ、郷土物産品、飲食物（アルコールを除く）、宅配便、その他要相談

応募要件：笠間市売店設置運営要項及び笠間市売店募集要領に基づく

応募締め切り：平成31年5月31日（金）まで

応募方法等詳細は、国体推進室までお問い合わせください。

いきいき茨城ゆめ国体2019
第74回国民体育大会　翔べ 羽ばたけ そして未来へ

協賛企業・団体、ボランティア、花いっぱい運動の協力団体を募集中！

↑国体HP

【問い合わせ】
スポーツ振興課
国体推進室（内線242）

【リハーサル大会】

競　技	大　会　名	期　日	会　場
ゴルフ（少年男子）	第73回国民体育大会 関東ブロック大会	平成30年　7月13日（金）	宍戸ヒルズカントリークラブ
クレー射撃	第73回国民体育大会 関東ブロック大会	平成30年　8月　1日（水）	茨城県狩猟者研修センター射撃場
軟式野球	水戸市長旗 第26回東日本軟式野球選手権大会	平成30年11月　3日（土）～5日（月）	笠間市総合公園市民球場

健康ホットライン

「気持ちの切り替えが大切です」

笠間市立病院　安達（あだち）　晴美（はるみ）

冬の厳しい寒さも遠のいて少しずつ暖かくなり、春を感じるようになりました。4月は入学式や入社式の行事が行われ、新しい環境で生活をスタートさせる方が多くいる季節です。不安な気持ちもあると思いますが、勉強や部活動、仕事など、新たな目標に向かって、「よし、頑張ろう！」という前向きな気持ちのほうが大きいのではないでしょうか。しかし、これからの生活の中で、思い通りにいかない事や、困難な出来事にあうこともあるでしょう。そのような時、たいていの人は、「諦めよう」とか「がんばっても無理」と考えてしまうと思います。そんな時に思い出していただきたい言葉があります。それは「あきらめない心」です。あきらめない心とは、取り組んでいる物事に対して途中で放棄せずに、最後までやり通うそうとする心意気のことです。

私は、2月に伊藤真波（いとうまなみ）さんの「あきらめない心」という講演を聴講しました。伊藤さんは、看護学生だった20歳の時に事故で右腕を失いましたが、強い精神力と持ち前の明るさで、日本で初めての義手の看護師となりました。また、リハビリの一環として始めた水泳で、障害者水泳に本格的に取り組み、北京・ロンドンパラリンピックに出場しました。しかし、ここまでの道のりは、想像を絶するほどの努力が必要だったことが、お話の内容からひしひしと感じられ、胸が痛くなるほどでした。どうしてここまで強くなることができたのでしょう。それは、心配をかけた両親を安心させたい、自分は一人ではない、支えてくれる人がたくさんいるという思い、そして、なによりも中学生からの夢であった看護師になりたいという「あきらめない心」をもっていたからです。

目標や夢の大きさは人それぞれ違うと思いますが、「あきらめない心」で、一人でも多くの方が、目標達成できますように、そして夢が叶いますように願っています。

【問い合わせ】市立病院　TEL0296―77―0034

笠間の歴史探訪41

芭蕉の句碑（一ツ葉について）

夏来てもたゞ一ツ葉の一ツかな

の句碑が愛宕山神社本殿北側の飯綱神社境内（階段上左側）にあります。

句　碑

芭蕉の句集『曠野（あらの）』所収で、貞享五年（元禄元・一六八八）に現在の岐阜県長良川付近の山路をたどった時に詠んだものです。

芭蕉没後百回忌に、茨城町野曽の佐久間青郊（せいこう）によって建てられました。（実際には佐久間家が類焼で全焼したため、二年後の寛政七年・一七九五・建立となる。）

ところで「一ツ葉」とは、どんなものなのでしょうか。植物図鑑では、ウラボシ科の常緑多年生シダ。一枚づつ直立、暖地の山野に自生し観賞用としても栽培されていました。

漢名は、石韋（せきい）。韋とは（なめし・そむく意）漢方薬での生薬名。『神農本草経（しんのうほんぞうきょう）』の中に収載されています。過去には利尿・治淋薬として用いられていました。

別名は大葉石韋・飛刀剱・石皮・ひとつば（石韋）とあります。

今では愛宕山に「一ツ葉」は無いそうです。

佐久間青郊の『三百六十日々記』（寛政五年元旦から十二月十九日まで）には、碑の建設に際し、一ツ葉について調べた記録があります。

三月十八日のところに、

雨。『一ツ葉』の不審晴れる。

夏来ても只一ツ葉の一ツかな

此句の弁知らず。人も知りがたし。

医書を開くと、『石韋ヒトツバ山中ノ石ノ上ニ生ズ。長一尺余。毛アリ黄毛也。ヒロサ一寸アマリ。裏ニ毛アリ黄毛也。此草ハ深山ニアリ。人ノ声水音ノ響聞コユル可ノ所ハ薬力ウスシ。』

とあります。

古書『神農本草経』は、中国最古の医学書で、薬草について詳しく書かれています。神農とは、中国の伝説上の帝王です。

この外、笠間市には芭蕉の句碑が二つ有ります。

○　笠間稲荷神社・藤棚下

しばらくは花の上なる月夜かな

○　玄勝院

古池や蛙飛び込む水の音

（市史研究員　松本兼房（まつもとかねふさ））

一　ツ　葉

国際交流サロン

今月から、新しい企画が始まります。これまで笠間市国際交流協会の活動に参加され、その後帰国して世界中で暮らしている海外の友達からの便りや、メッセージをご紹介します。今回は、合気道の内弟子で一年間笠間に滞在し、英国に帰国されロンドンでボディーガードの仕事をしているArtur Greskiewiczさんからのメッセージです。さあ、世界に友達を作って交流を始めましょう。

Hello Dear Friends in KISA How are you? I would like to ask because I am coming to Japan in August. So I am curious about the Matsuri Festival that we attended the other year with all uchi deshi. Was it in August? From Artur Grzeskiewicz	KISAの皆さんこんにちは。 お元気ですか？ 私は8月に日本に行くので聞きたいことがあります。 何年か前に内弟子の皆と一緒に参加したお祭りのことを知りたいと思います。それは8月でしたか？ Artur Greskiewiczより

●5月の国際交流情報●

笠間市国際交流協会のホームタウンガイドのご案内

期間：4月29日（日）から5月5日（土）

時間：午前10時から午後4時

場所：笠間稲荷神社・つつじ祭り・陶炎祭会場

笠間市国際交流協会のホームタウンガイドが4月29日から5月5日までのゴールデンウィーク期間中に、外国人旅行者の観光案内を英語、フランス語、ドイツ語、中国語、タガログ語、インドネシア語で行っています。笠間稲荷神社・つつじ祭り・陶炎祭の3か所で協会のロゴが入ったオレンジ色またはグリーンのユニホームで巡回しています。市内の道案内と飲食店やお土産店のご案内などを主に、情報をニーズに応えて提供しています。どうぞ、ご利用ください。

5月の日本語教室

5日、12日　19日　（会場：トモア　午前10時～）

※外国人相談も受け付けています。

エチオピア大使館訪問

【問い合わせ】一般社団法人 笠間市国際交流協会 木村美枝子

市長コラム

海外からの新しい風

市では現在、国のJET（外国青年招致事業）制度により、アメリカからイアン・ホリカワさんが来日し、市民活動課で2年間笠間市国際交流員として市内のさまざまな場所で活動しています。

また、世界各国から外国人指導者を市内16校の小中学校に総勢18名を配置して英語指導に当たり、英検合格率アップ等の成果も出ています。

新たに平成30年度は、6月にJICAの農業研修生がベトナムから農政課に笠間市の取り組みを学ぶために派遣されます。さらにスポーツ振興課に、エチオピアの陸上ナショナルチームのコーチを8月からスポーツ国際交流員として受け入れ、小、中学生の陸上指導にあたる予定です。

また、市と陶芸技術者の育成等に関して相互協力し、両国の友好関係強化促進を図るといった内容の覚書を締結しているタイのメーファールアン財団より、陶芸大学校へ陶芸研修生が4月から入学し、1年間技術指導を受ける予定です。

そして、5月には「菊まつり」が縁で平成18年から交流を続けてきたドイツのラール市と、友好都市協定書の締結も予定しています。

国際化に伴い、市としても積極的に外国の方を受け入れ、行政・地域において幅広く活躍していただくことが重要です。多様な価値観に直接ふれることで、改めて学ばされることは多いです。姿を見かけたときは、気軽に声をかけ、交流を深めてください。

笠間市長　山口伸樹

子供たちと英語遊びを行うイアンさん

書籍
CD
DVD

としょかん

〈Twitter アカウント〉
笠間図書館 ☎ 0296-72-5046 @kasama_klib
友部図書館 ☎ 0296-78-1200 @tomobe_klib
岩間図書館 ☎ 0299-45-2082 @iwama_klib

☆としょかん1年生のご案内

新小学1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

笠間市立図書館では、市内に在学または在住の小学1年生を対象にした「としょかん1年生事業」を行っています。

この事業は、新小学1年生に、自分の図書カードをつくり、自分で借りることを体験して、本への興味や世界を広げてほしい、という願いを込めた事業です。

入学式で配布された図書館からの「しょうたいじょう」(黄色)をおもちいただいた方には、オリジナルのしおり等、図書館利用に役立つものが入った「としょかん1年生パック」をお渡ししています。

ぜひ、お子さんと一緒にお近くの図書館までお越しください。

学校で配られる「しょうたいじょう」

これをもって図書館までお越しください。

としょかん1年生パック
(写真は昨年度のものです)

☆図書館雑誌のスポンサーを募集中!

お店、会社のＰＲをしたいが、予算に見合った媒体が見つからない、絞り込んだ客層に深くＰＲしたいが、どのようにしたらよいのかわからない、従来のＰＲ方法での費用対効果がはっきりしない…

図書館雑誌スポンサー事業を活用しませんか?

(笠間市立図書館は、8万人未満の市町村図書館で5年連続貸出日本一を記録しています!)

・図書館の利用者は定期的に図書館に来館します。
・図書館購入雑誌の表紙面の一部を利用して手軽なご予算で、御社の店名や社名を売り込めます。
・雑誌裏表紙面に御社の事業概要等を差し込んで、詳しいPRができます。
・ＰＲしたいお店、会社様には図書館所蔵より選んだ雑誌の年額相当をお支払いいただきます。

＜実施例＞

↑雑誌の棚に置かれたスポンサー付き雑誌(丸で囲まれた部分に社名が入っています)

↑最新号の雑誌に裏表紙面には詳しいＰＲ、事業概要が載せられます。

随時募集していますので、ぜひご検討ください。
お問い合わせは各図書館までお願いします。

各館の行事予定 5月

笠間図書館

◆おはなし会
(0～3歳向け　午前11時～11時20分)
5月11日(金)
来てのお楽しみ!
5月25日(金)
来てのお楽しみ!

◆おはなし会
(4歳～小学生向け　午後2時～)
5月13日(日)
『ぼくたちのブランコ』ほか
〈たんぽぽ〉
5月20日(日)
『しりとりのだいすきなおうさま』ほか
〈語り部の会〉
5月27日(日)
来てのお楽しみ!
〈アイ アイ〉

◆ギャラリー
4月27日(金)～5月23日(水)
「友部版画展」

友部図書館

◆おはなし会
(0歳～3歳向け　午前11時～)
5月17日(木)
来てのお楽しみ!

◆名作映画会(午後2時～)
5月27日(日)
『オズの魔法使い』(102分)

◆ギャラリー
◇5月29日(火)～6月10日(日)
「写真展示」友部写友会

岩間図書館

◆おはなし会
(0歳～3歳向け　午前11時～11時30分)
5月10日(木)
来てのお楽しみ!
＊場所：岩間子育て支援センター
くりのこ

7月31日(火)まで岩間支所改修工事のため岩間図書館は休館です。

茨城県陶芸美術館企画展

◆日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念
フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア
コレクション・カッコネン

◆マリメッコ・スピリッツ　Finland Meets Japan
4月21日(土)～7月1日(日)

【展覧会概要】
2つの企画展の同時開催により、フィンランドデザインの源泉から新たな展開まで、その魅力と全貌を紹介します。

ビルゲル・カイピアイネン
「飾皿(果実)」
1970-1980年代
アラビア製陶所
コレクション・カッコネン
©KUVASTO Helsinki &
JASPAR,Tokyo,2018
photo：Niclas Warius

マイヤ・ロウエカリ
「桜の花の雨」
2017年
Marimekko

◆開館時間　午前9時30分～午後5時
(入場は4時30分まで)

◆観覧料　一般820(670)円　高大生620(510)円
小中生310(260)円
※(　)内は20名以上の団体料金。70歳以上無料

◆休館日　月曜日(ただし、4月30日は開館)

笠間市笠間2345(芸術の森公園内)TEL 0296-70-0011
ホームページ http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/

監査委員の紹介

4月1日付で、須藤幹夫(すとうみきお)さん(新任)が監査委員に選任されました。
任期：4月1日から4年間

監査委員は、人格が高潔で、市の財務管理や事業の経営管理その他行政運営に関する識見を有する人および市議会議員の中から選ばれます。主に、市の財務に関する事務の執行および市の経営に係る事業の管理が、合理的かつ適正に行われているか監査します。

4月の納税等　納期限：5月1日(火)

・固定資産税(1期分)・介護保険料(1期分)

※納税には，簡単で便利な口座振替をご利用ください。
※納期限を過ぎると延滞金が加算されます。早めの納税をお願いします。
※口座振替で納付の方は預金残高の確認をお願いします。

エコフロンティアかさま監視委員会活動報告(実施日 2月22日)

【施設の維持管理】
環境保全事業団より、維持管理状況の報告を受けた。

- ごみの受入投入方法については、展開検査ヤードで受入検査を実施後、クレーン方式によりごみを均一に混合し投入している。(日平均135.5ｔ)
- 炉の運転方法については、助燃バーナーを使用し、一酸化炭素濃度が100万分の100以下となるようにごみを焼却している。
(維持管理目標値30ppm以下で設定。　結果：1号炉8ppm　2号炉11ppm)
- ダイオキシンの発生防止については、燃焼室中の燃焼ガスを摂氏800度以上に保ち、集塵器に流入する燃焼ガスを水噴霧により摂氏175度以下に冷却している。
また、煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度は、維持管理目標値である0.1ng-TEQ/N㎥以下となるように二次燃焼室において完全燃焼している。
(結果：1号炉　0.042ng-TEQ/N㎥　　2号炉　0.020ng-TEQ/N㎥)
- ばいじん中に含まれるダイオキシン類濃度は、年1回以上測定し0.62ng-TEQ/gとなっている。
- 消火設備、粉じん飛散防止、害虫発生抑制、騒音・振動・悪臭・水質など生活環境に支障が生じないよう整備または実施している。

【次回の監視活動】
施設モニタリング・排ガスの維持管理・浸出水の放流について実施。

国産品なら
畳工房 ニタイラ

他社と比べて下さい
見積もり無料

畳表替え……3,900円～
襖張替え……2,800円～
障子張替え(大)…1,780円
アミ戸張替え(大)…2,100円
◎オーダーカーテンもやってます

気持ちのいい季節になりましたね。網戸にして外の風を入れてみては！！

網戸張り替え 10%OFF
(5月末まで)

笠間市小原1216　TEL.0296-77-7845

児童発達支援事業 こどもプラス笠間教室 は
放課後等デイサービス
運動＋学習
で、笑顔とやる気を育てます
全国から注目されてる運動プログラムをしています

お子様がいきいきと笑顔で安心に過ごせる場所を提供し、ご家族と一緒にお子様の未来を考え、療育を実践します

送迎があります
笠間市内のお子様は学校→教室→自宅までお送りします

こどもプラス笠間教室　笠間市平町1927　☎0296-71-2545　http://kp-kasama.com/

案内

笠間市

◎総合公園の遊具をリニューアルしました

笠間市総合公園に新しい複合遊具が設置されました。4mの高さから滑り降りるロングウェーブスライダーと笠間の栗をモチーフにした「ビッ栗」ルーフが特徴で、さまざまな遊びの要素が詰まった遊具となっています。どうぞご利用ください。

利用開始日▶4月1日(日)
場所▶笠間市総合公園(笠間市箱田867-1)
対象▶6～12才
問 **都市計画課(内線 587)**

◎市民農園「生き活き菜園はなさか」利用者募集

新しい季節に、家族や仲間とふれあいながら、無農薬の野菜作りを始めませんか。施設内には、無料で使用できる農具のほか、トイレや休憩施設、水道、駐車場、広場があります。毎週日曜日には栽培講習会があり、専門講師から野菜作りのアドバイスを受けられるので、未経験者でも安心です。

場所▶笠間市橋爪(「いこいの家はなさか」(笠間市橋爪586-4)に隣接)
対象▶農業を営んでいない方
使用料▶年間10,280円(1区画30㎡)※途中の場合は月割となります。
使用期間▶4月1日～平成31年3月31日(更新可)
申し込み方法▶所定の使用申請書およびアンケートを農政課まで提出してください。
　申請書は、市ホームページからもダウンロードできます。
申し込み期間▶随時
申・問 **農政課(内線542)**

トモア

◎毎週木曜日は「映画の日」トモア駅前シネマのご案内

週替わりで懐かしの名画・話題の映画を上映します。

5月の木曜日は「石原裕次郎」特集です！

3日「嵐を呼ぶ男」、10日「俺は待ってるぜ」、17日「銀座の恋の物語」、24日「夕陽の丘」、31日「夜霧よ今夜も有難う」

※詳しくは、お問い合わせください。

内容・時間▶毎週木曜日①午前10時～②午後1時～③午後4時～④午後7時～
料金▶一般1000円　身障者・シニア800円　子ども500円
場所▶地域交流センターともべ「トモア」マルチホール
申・問 **地域交流センターともべ「トモア」**
TEL 0296-71-6637

あたご

◎英会話教室の募集

幼児から社会人まで各クラス開催

日時▶毎週月曜日　午後4時30分～午後8時
参加費▶5000円／月
申し込み方法▶電話で受け付け
申・問 **地域交流センターいわま「あたご」**
TEL 0299-57-3357

◎ボイストレーニング教室

日時▶毎月第1水曜日午前10時～11時30分
場所▶地域交流センターいわま健康ふれあいルーム
講師▶早川千丈(はやかわ ちひろ)先生
対象▶大人(幅広い世代)
参加費▶2000円／1回
申し込み方法▶電話で受け付け
申・問 **地域交流センターいわま「あたご」**
TEL 0299-57-3357

笠間の家

◎フルート講座

少人数制のフルート教室です。講座の後のお茶タイムに先生の演奏付き。

日時▶月2回・木曜日(5月は10日・17日)午前10時～11時30分　午前11時30分～正午　お茶と先生の演奏
参加費▶7000円／月(毎回1ドリンク込)
場所▶笠間の家
申・問 **笠間の家**
TEL 0296-73-5521

～音景～　成田玲(なりたれい)　写真展

バミューダ音楽出版所属の写真家でありピアニストでもある成田玲の風景写真展示

日時▶4月20日(金)～30日(日)
場所▶笠間の家ギャラリー(無料)
申・問 **笠間の家**
TEL 0296-73-5521

塚本純子(つかもとじゅんこ)ガラス絵展示会

日時▶5月2日(水)から6月16日(水)
場所▶笠間の家ギャラリー(無料)

うさとの服展

日時▶5月23日(水)から27日(日)
申・問 **笠間の家**
TEL 0296-73-5521

笠間市ホームページへ
広告を掲載しませんか？

1年間で100万を超えるアクセス数！
市内外の方へＰＲが可能です

【問合せ】株式会社ホープ　Tel.092-716-1404

この枠に広告を掲載してみませんか？

市民に的を絞った効果的な
周知が期待できます

掲載料金
小サイズ(45mm×85mm)　10,280 円／月
大サイズ(45mm×170mm)　20,570 円／月

広報かさま
27,200部
発行

【問合せ】笠間市役所 秘書課　Tel.0296-77-1101

退任あいさつ

前笠間市副市長　久須美（くすみ）　忍（しのぶ）

私は、平成25年から5年間、副市長を務めさせていただきました。

県から派遣された身分ではありましたが、市の職員として市民の福祉の向上と地域経済の活性化のためにどのような貢献ができるのかということを常に意識し、微力ながら市行政を担わさせていただきました。

これもひとえに、山口市長をはじめ議員各位、市民の皆さんのひとかたならぬご指導、ご支援の賜物と深く感謝しております。

さて今、日本は人口減少という大きな時代の転換期を迎え多くの方が子育てや医療、介護といった社会保障制度の持続性に漠然とした不安を感じていると思います。

加速化する少子高齢化という高い壁を乗り越え、地域の抱える課題を解決するための道のりは決して平担ではないでしょう。

しかし、私は笠間市で暮らす市民の力、地域の力の大きさを知っています。市役所、議会、各種団体、そして笠間市民の皆さんがともにまちづくりにかかわることで課題解決の答えは必ず見つかるはずです。

笠間市が子どもからお年寄りまで世代を超え、安心して暮らし続けることができるまちであることをご祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

平成30年4月1日笠間市人事（部課長級・新規採用職員・退職者）

市長公室

市長公室長　塩畑　正志
秘書課長　長谷川康子
企画政策課長　北野　高史
企画政策課副参事兼企業誘致推進室長　久野　穣

総務部

総務部長　中村　公彦
総務課長　西山　浩太
笠間支所長　兼笠間支所地域課長　渡部　明
岩間支所長　兼岩間支所地域課長　伊勢山　裕
資産経営課長　山田　正巳
財政課長　木村　成治
税務課長　山崎由美子
収税課長　太田　周夫

市民生活部

市民生活部長　石井　克佳
市民活動課長　橋本　祐一
市民課長　友部　健壽
市民課副参事（笠間地方広域事務組合）小薬　進
環境保全課長　滝田　憲二
環境保全課副参事（笠間・水戸環境組合）赤上　信
笠間支所市民窓口課長　岡野　洋子
岩間支所市民窓口課長　前嶋　典子

保健福祉部

保健福祉部長兼福祉事務所長　下条かをる
社会福祉課長　後藤　弘樹
子ども福祉課長　菅井　敏幸
高齢福祉課長　堀内　信彦
高齢福祉課副参事兼包括支援センター長　飯村美奈子

笠間支所福祉課長　箱守　司郎
岩間支所福祉課長　飯田　由一
かさまこども園副参事兼園長　高野　厚子
いなだこども園副参事兼園長　関　泉
保険年金課長　三次　登
健康増進課長　小澤　宝二

笠間市立病院

市立病院長　石塚　恒夫
市立病院看護局長　海藤佐代子
市立病院事務局長　友水　邦彦
市立病院事務局経営管理課長　田村　一浩

産業経済部

産業経済部長　古谷　茂則
産業経済部参事（笠間市農業公社）友部　邦男
農政課長　金木　雄治
商工観光課長　川又　信彦
道の駅整備推進課長　斎藤　直樹

都市建設部

都市建設部長　大森　満
建設課長　吉田　貴郎
管理課長　横手　誠
都市計画課長　持丸　公伸
まちづくり推進課長　松本　浩行
まちづくり推進課副参事兼空家政策推進室長　礒山　浩行

上下水道部

上下水道部長兼水道課長　市村　勝巳
下水道課長　安達　正一

会計課

会計管理者兼会計課長　柴田　常雄

議会事務局

議会事務局長　渡辺　光司

新副市長紹介

新笠間市副市長　近藤（こんどう）　慶一（けいいち）

近藤慶一さんが就任

平成30年3月の定例議会において同意を得て、近藤慶一さん（下郷）が副市長に任命されました。

近藤さんは昭和32年生まれの60歳。早稲田大学を卒業後茨城県庁に入庁し、企画部や土木部、福祉部、衛生部、商工労働部など多くの部署に勤務され、平成20年から22年までの2年間は、高萩市の副市長も務められました。その後、医療対策課長や保健福祉部理事兼次長を経て、平成29年4月からは生活環境部長として県政に尽力され、本年3月に茨城県庁を退職されました。

就任あいさつ

このたび、4月1日付けで副市長に就任いたしました。身に余る光栄であり、その責務の重さに改めて身が引き締まる思いです。

さて、少子高齢化、人口減少が大きな課題となっている現在、厳しい地域間競争に打ち勝ち、安全・安心で活力があり、「住んで良かった」と実感できる地域を築いていくことが必要です。

このような中、山口市長をはじめ市職員、市議会の皆さん、そして市民の皆さんと力を合わせて、笠間市の発展のために全力を尽くしてまいります。

何卒、温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

議会事務局次長　堀越　信一

農業委員会事務局

農業委員会事務局長　池田　昌美

監査委員事務局兼公平委員会事務局

総務部付参事兼監査委員事務局長
兼公平委員会事務局長　打越　勝利

教育委員会

教育次長　小田野恭子
学務課長　堀江　正勝
生涯学習課長　石井　淳
笠間公民館副参事兼館長　清水　博
笠間図書館副参事兼館長　高野　一
スポーツ振興課長　松田　輝雄
スポーツ振興課副参事
兼国体推進室長　沼野　剛

消防本部

消防長　安達　裕一
消防次長兼消防本部予防課長　上野　浩
消防本部総務課長　鈴木　一也
警防課長　川辺　義明
笠間消防署長　藤枝　誠一
友部消防署長　森下　巖
岩間消防署長　薗部　恵一

新規採用職員

内藤　圭佑	学務課
朝倉　里実	市民課
栗田　彩香	農政課
白石　凌	環境保全課
竹澤　隼	健康増進課
三次　葉子	商工観光課
廣木美衣那	税務課
塚田　夏実	総務課
石神　良記	農政課
渡邊　桜	秘書課
東野　美咲	スポーツ振興課
平野　瑞季	子ども福祉課

3月31日付退職者

内桶　優	建設課
竹江　崇	高齢福祉課
橋本　大志	市立病院医務局
打越　貴之	笠間消防署
澤幡　悠悟	友部消防署
池田　光平	岩間消防署
鈴木　彰太	笠間消防署
後藤　龍輔	友部消防署
小松﨑　稜	岩間消防署
沼野　剛	スポーツ振興課国体推進室
阿部　富夫	スポーツ振興課国体推進室
青柳　博信	スポーツ振興課国体推進室
井坂　守	スポーツ振興課国体推進室
大里　光男	スポーツ振興課国体推進室
小南　英次	スポーツ振興課国体推進室
早乙女恭哉	スポーツ振興課国体推進室
神﨑　麻美	スポーツ振興課国体推進室
竹内　優都	市立病院医務局
冨安　茜	秘書課
小林　由美	環境保全課
坂場　尚志	建設課
美留町和也	学務課

鷹松　丈人	富田　桂子
鯉渕　賢治	白石　早苗
水越　均	塚田　京子
岡野　正則	野口　節子
打越　久勝	小薗　洋子
萩原　修	米川　健一
鈴木　武	内桶　克之
沼野　剛	岡野　裕
田口　信助	橋本　良一
小島　一実	内桶　里子
重藤　洋一	長沼　幸記
田口　智康	大久保守秀
石井　登	三浦由希子
稲田　房子	五十野博基

笠間市ヘルスリーダーの会が紹介する

かさま食彩

毎月19日は「食育の日」

家族と一緒に食卓を囲み、このレシピをためしてみませんか？

春野菜を手軽にチーズフォンデュ

材料（4人分）

ピザ用チーズ	400ｇ
小麦粉	大さじ4
牛乳	500ml
水	100ml
にんにく（すりおろし）	1かけ
塩	少々
こしょう	少々

（具材）

アスパラガス	4本
スナップエンドウ	50ｇ
パプリカ 赤・黄	各60ｇ
フランスパン	180ｇ
ブロッコリー	200ｇ（一人4個）
ミニトマト	16個（一人4個）
エビ	16尾（一人4尾）
ウインナー（小）	16本（一人4本）

作　り　方

①【具材の準備】
アスパラガスは茹でて3等分にする。スナップエンドウは筋をとり、茹でる。パプリカはうす切り。フランスパンは一口大の角切り。ブロッコリーは一口大に切り、茹でる。えび、ウインナーは茹でる。ミニトマトは洗っておく。
②袋にピザ用チーズ・小麦粉を入れ、粉を全体にまぶす。
③鍋で牛乳と水を温めておく。
④②を土鍋に入れ、再びチーズと小麦粉を良くまぜ、弱火にかける。
チーズが溶けてきたら③を4～5回に分けて加え、チーズを溶いていく。
（一度に入れると溶けにくいので、少しずつ加えて溶く）
⑤チーズが溶けて、とろみがついてきたら、おろしにんにくを入れ、塩、こしょうで味を整える。
⑥具材に竹串を刺し、⑤をからめて食べる。

栄養成分（1人分）

エネルギー	516kcal	たんぱく質	31.0g
脂　質	27.5g	塩　分	3.6g

笠間焼うつわプレゼント

【笠間焼の提供】柴田（しばた） 裕子（ゆうこ）（石井）　サイズ：約15cm×約15cm

撮影に使用した笠間焼の器を抽選で１名様に差し上げます。このコーナーや広報紙への感想等を添えて、住所・氏名・電話番号を明記のうえ、秘書課まではがき（持参可）でお申し込みください。
※当選者には、市役所本所秘書課まで器を受け取りに来ていただきます。

4月号締め切り：4月28日（金）必着

私には３歳の娘と２歳の息子がいます。それぞれ持ち味が違い、予想しないハプニングが起き、日々奮闘しています。

たまにイクメンと言われますが、私自身は育児というより、一緒に食べる・寝る・遊ぶなど行動を共にするという意識に近いです。その中で、娘はお姉ちゃんとして思いやりがめばえ、息子は譲ることや我慢を覚え、些細なことでも一歩一歩大きくなる姿に喜びを感じます。

子供たちの成長は、私だけでなく、妻・両親・先生方・お友達など多くの方々のお力添えがあってのことです。感謝の気持ちをずっと忘れずに共に成長していきたいです。

萩原　安弘

笠間キッズ館アドレス　http://kasamacity-kidskan.com　問い合わせ：笠間キッズ館 TEL0296-77-8340
かさまぽけっとアドレス　http://kasama-pocket.jp　問い合わせ：子ども福祉課 TEL0296-77-1101（内線162）

人口と世帯数　《常住人口3.1現在》（　）内は前月比較

●人　口：75,455人（−63人）　男36,929人（−24人）　女38,526（−39人）
●世帯数：28,656世帯（+16世帯）　●2月の出生数：31人　●2月の死亡数：80人

○広報かさまに掲載されているあなたの写真を差し上げます。お問い合わせは秘書課（内線225）まで。
○市ホームページモバイル版では、行政・災害などのさまざまな情報をお届けしています。
http://www.city.kasama.lg.jp/mobile